
XOOPS Cube
インストールマニュアル
Version 1.0 (20071220)

AT-LINK 専用サーバ・サービス

目次

1. このマニュアルについて.....	2
2. 設定内容の確認.....	2
3. MySQL の設定 (文字コードの変更および XOOPS アカウントの設定).....	3
4. XOOPS Cube パッケージの入手・ダウンロード.....	5
5. XOOPS Cube のインストール.....	6
6. 付録.....	14

1. このマニュアルについて

この XOOBS Cube インストールマニュアルは、AT-LINK 専用サーバ・サービス（以降、at+link）が提供する Red Hat Enterprise Linux ES 4 / 5 用の参考手順書です。

このインストールマニュアルに関するサポートは行っておりません。
あらかじめご了承ください。

必要な情報は、公式サイト (<http://jp.xoops.org/>) をご覧ください。

2. 設定内容の確認

当サービス で標準インストールを行っている Red Hat Enterprise Linux(RHEL) には、MySQL が組み込まれています。インストールを行う前に、MySQL を起動しておいてください。なお、当サービスでは無料で MySQL の起動作業をお受けしております。

3. MySQL の設定 (文字コードの変更および XOOPS アカウントの設定)

3. MySQL の設定 (文字コードの変更および XOOPS アカウントの設定)

1. サーバにログインし、管理者権限で [/etc/my.cnf] を編集します。
文字コードは [utf8] を指定します。

<< 例 >>

```
su -  
vi /etc/my.cnf
```

<< 次の内容で編集します >>

```
[mysqld]  
default-character-set=utf8  
  
[client]  
default-character-set=utf8  
  
[mysql.server]  
default-character-set=utf8  
  
[safe_mysqld]  
default-character-set=utf8
```

MySQL の再起動を行い、設定を有効にします。

```
/etc/rc.d/init.d/mysqld restart
```

※ 設定されている文字コードを確認する場合は、次のコマンドを実行してください。

```
mysql -u root          ← MySQL サーバに接続します  
mysql> show variables like 'character_%'; ← 文字コードを問い合わせます  
¥q                    ← 終了します
```

3. MySQL の設定 (文字コードの変更および XOOPS アカウントの設定)

2. MySQL を捜査し、XOOPS アカウントの設定を行います。

```
mysql -u root
create database データベース名;
GRANT ALL ON データベース名.* TO ユーザ名@localhost IDENTIFIED BY 'パスワード';
¥q
```

<< 設定例 >>

```
mysql -u root
create database xoops;
GRANT ALL ON xoops.* TO xoops@localhost IDENTIFIED BY 'fa23Mef';
¥q
```

※ パスワードは適宜設定してください。

4. XOOPS Cube パッケージの入手・ダウンロード

4. XOOPS Cube パッケージの入手・ダウンロード

1. 公式サイト (<http://jpxoops.org/>) から最新版をダウンロードします。
※ 2007年12月20日現在、最新版は、【 XOOPS Cube Legacy 2.1.2 】です。
また、ファイル名は、【 Package_Legacy_2_1_2.zip 】です。
2. ダウンロードしたファイルをサーバにアップロードします。
アップロード先は、ドキュメントルート以外のディレクトリを指定してください。

<< 例 >>

```
[ /home/homepage/ ]
```

3. ファイルを解凍し、解凍後にできたディレクトリのうち、[html] をドキュメントルート配下へ移動します。

```
unzip ファイル名  
mv ディレクトリ名 /home/homepage/public_html/xoops
```

<< 例 >>

```
unzip Package_Legacy_2_1_2.zip  
mv /home/homepage/Package_Legacy_2_1_2/html /home/homepage/public_html/xoops
```

- ※ [.zip] ではなく [.tar.gz] の拡張子をもつファイルをダウンロードした場合の解凍コマンドは、[tar xvfz] です。

5. XOOPS Cube のインストール

1. ブラウザの「アドレス」欄に、以下のように入力して **Enter** キーを押します。

```
http://ドメイン名/xoops/install/index.php
```

2. インストールウィザードの開始ページが表示されます。
プルダウンメニューから【japanese】を選択し、【次へ】をクリックします。



3. 「はじめに」「必要なソフトウェア」「準備」を熟読し、確認後に【次へ】をクリックします。



5. XOOPS Cube のインストール

4. ファイルのアクセス権のチェックを行い、指示どおりに作業をします。
その後、ページの再読み込みを行ってください。



<< 例 >>

この表示の場合は、以下のコマンドを実行します。

```
chmod 777 /home/homepage/public_html/xoops/uploads
chmod 777 /home/homepage/public_html/xoops/cache
chmod 777 /home/homepage/public_html/xoops/templates_c/
chmod 666 /home/homepage/public_html/xoops/mainfile.php
```

5. 「アクセス権に問題はありません」と表示されたら、【次へ】をクリックします。
問題があった場合は、4、をもう一度実施してください。



3. MySQL の設定 (文字コードの変更および XOOPS アカウントの設定)

6. 必要な項目を入力し、【次へ】をクリックします。

XOOPS Cube Installation 画面上の指示に従って設定を行ってください

確認 >> [次へ]

データベース、およびパス・URLの設定

データベースサーバ
使用するデータベースサーバの種類を選択してください。 mysql

データベースサーバのホスト名
使用するデータベースサーバのホスト名を入力してください。
よく分からない場合は、「localhost」として、ほご問題はありません。 localhost

データベースユーザ名
上記データベースサーバに対応するユーザアカウント名を入力してください。

データベースパスワード
上記ユーザアカウントのパスワードを入力してください。

データベース名
使用するデータベース名を入力してください。
よく分からない場合は、この時点でデータベースの作成を試みます。

テーブル接頭語
各テーブル名にこの接頭語を付加し、既存テーブルとの名称の重複を防ぎます。
よく分からない場合はデフォルトのままにしてください。 c39dbd

SALT
暗号化を行うためのランダムな文字列です。特に変更する必要はありません。 acf31d53

Let's Start !!

<< 入力例 >>

データベースサーバ	mysql
データベースサーバのホスト名	localhost
データベースユーザ名	xoops
データベースパスワード	fa23Mef
データベース名	xoops
テーブル接頭語	c39dbd
SALT	acf31d53
データベースへ持続的接続	いいえ
XOOPS へのパス	/home/homepage/public_html/xoops/
XOOPS への URL	http://お客様のドメイン名/xoops/

7. 設定内容を確認し、【次へ】をクリックします。

XOOPS Cube Installation 画面上の指示に従って設定を行ってください

戻る << 設定の再入力 設定の保存 >> [次へ]

設定内容の確認

データベースサーバ mysql

データベースサーバのホスト名 localhost

データベースユーザ名 xoops

データベースパスワード fa23Mef

データベース名 xoops

テーブル接頭語 c39dbd

SALT acf31d53

データベースへ持続的接続 いいえ

XOOPS Cubeへのパス /home/homepage/public_html/xoops/html

XOOPS CubeへのURL http://お客様のドメイン名/xoops/html

Let's Start !!

戻る << 設定の再入力 設定の保存 >> [次へ]

5. XOOPS Cube のインストール

8. 設定した内容がファイル [mainfile.php] に書き込まれます。
処理が終わったら【次へ】をクリックします。



9. パスと URL を確認し、【次へ】をクリックします。



10. データベースの設定を確認し、【次へ】をクリックします。



3. MySQL の設定 (文字コードの変更および XOOPS アカウントの設定)

11. 「データベースサーバへの接続に問題はありません。」と表示されれば、正常に接続できています。【次へ】をクリックしてください。



12. データベース上にテーブルが作成されます。完了後、【次へ】をクリックします。



13. サイト管理者についての設定を行います。必要事項をフォームに入力し、【次へ】をクリックします。



<< 例 >>

管理者ユーザ名	pr-info
管理者メールアドレス	pr-info@at-link.ad.jp
管理者パスワード	hojuva('W634

5. XOOPS Cube のインストール

14. データベース上に必要なデータが生成されます。
内容を確認し、【次へ】をクリックします。



15. [インストール第1ステップ完了] の表示が出ます。
引き続き、インストール第2ステップに進みます。【次へ】をクリックしてください。



16. ログイン画面が表示されます、
13. で設定した内容を使ってログインしてください。



3. MySQL の設定 (文字コードの変更および XOOPS アカウントの設定)

17. 導入されていないモジュールリストが表示されます。

【インストール】をクリックします。



18. インストール完了の表示がされます。

「install ディレクトリの削除」の指示が表示されるため、その指示に従います。
install ディレクトリの削除が終わったら、ページの再読み込みを行ってください。



<< 例 >>

```
rm -rf /home/homepage/public_html/xoops/install
```

19. [mainfile.php] の書き込み権限の変更を行います。

<< 例 : suEXEC を有効にしている場合 >>

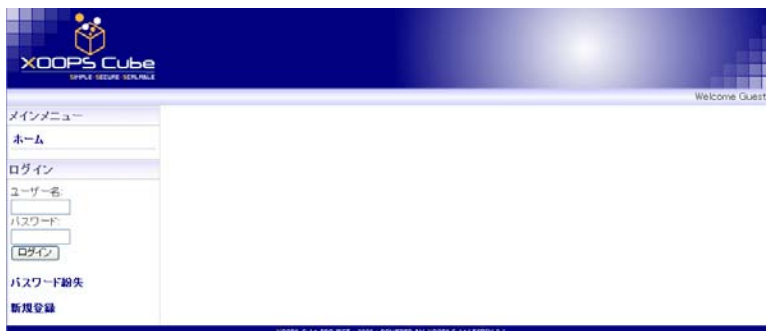
```
chmod 400 /home/homepage/public_html/xoops/mainfile.php
```

<< 例 : suEXEC を無効にしている場合 >>

```
chmod 404 /home/homepage/public_html/xoops/mainfile.php
```

5. XOOPS Cube のインストール

20. <http://お客様のドメイン名/xoops/> から、必要な設定を行います。



6. 付録

ファイル・ディレクトリの保護について

<http://jp.xoops.org/> からダウンロードしたファイルを解凍した際、**html** ディレクトリ以外に [docs] と [extras] ディレクトリが作成されます。

このディレクトリを公開ディレクトリ配下に設置した場合は、セキュリティ面を考慮して、外部からアクセスができないように設定する必要があります。

設定は、このディレクトリ配下に、**.htaccess** ファイルを作成します。

.htaccess ファイルは、以下の内容を記述してください。

```
order deny,allow
deny from all
```